

# 京都大阪森林管理事務所(大阪府分)

担当者  
森林技術指導官:植田修司  
TEL:075-414-9822

- ▶ 大阪府の森林は、北から摂津、生駒金剛、和泉葛城の三山系からなり、大阪平野を取り巻く形で位置しています。森林率は、全国の67%に比べ31%と全国最低ではあるものの、人工林率は49%と全国平均の41%を上回っています。また、森林の98%を民有林が占め、その内の約9割が私有林となっています。
- ▶ 民有林では、一般的にスギ、ヒノキの人工林の多くが未だ間伐等の施業が必要な育成段階にありますが、保育施業対象外となる12齢級(56~60年生)以上の割合も増加してきており、資源としての本格的利用が可能となる段階に入りつつあります。  
一方、府域内の国有林は1千haと僅かながら、奥地脊梁地帯から中山間、都市近郊に広く分布しており、それぞれの国有林のおかれた自然的・社会経済的特性を反映し、国土の保全、水源の涵養、保健・文化・教育的な利用の場として、森林の多面的機能の発揮に寄与しています。
- ▶ 大阪府との地域林政連絡会議では、共通の地域課題を持つ箕面市も参画し、平成25年度の地域課題の解決に向けた取組の総括を行い、平成26年度の民国連携の取組に向けて、木材の安定供給と府内産木材の利用促進、鳥獣被害対策及び森林病虫害対策への取組について意見交換を行いました。
- ▶ 国有林が所在する市町村の地域課題や共通課題について、各種会議等の場を利用して幅広い情報収集を行っており、それぞれの市町村が抱えている鳥獣被害対策等の地域課題について、民国が連携した取組を展開しています。



(大阪府・箕面市との地域林政連絡会議の様子)

## 林産物の安定供給

**【課題】** 木材の安定供給と府内産木材の利用促進(継続)

**【取組状況】**

- ・ 箕面国有林で素材生産事業を実施し、原木市場へ約370m<sup>3</sup>、安定供給システムにより約150m<sup>3</sup>の間伐材を供給。
- ・ バイオマス発電施設(大東市)に近接する国有林から林業専用道に係る支障木(約35m<sup>3</sup>)を供給。
- ・ 国有林野等所在市町村長協議会において、関係市町村へ地域材の利用促進について協力依頼を実施。

**【成果と今後の課題】**

- ・ 平成26年に経常樹立する国有林野施業実施計画(大阪森林計画区)において、平成27年4月1日以降の5年間で、約26千m<sup>2</sup>の立木伐採指定量を計画。
- ・ 大阪森林計画区内の国有林の伐採予定量について、前期計画の112%増で計画しており、今後、計画的な木材の伐採・利用により木材の安定的な供給に貢献予定。
- ・ 箕面国有林から生産された木材は、原木市場への委託販売を通じて地域への計画的な供給に寄与。
- ・ 林地残材等の有効活用に寄与。今後、各種事業の実行により発生した支障木等については、積極的な供給を予定。
- ・ 市町村が作成する市町村木材利用方針の策定に向け、引き続き関係市町村へ木材利用の促進について情報発信を予定。

### 大阪森林計画区内の国有林の伐採数量



(箕面国有林での素材生産事業の様子)



(国有林野等所在市町村長協議会の様子)

## 森林病虫害対策の推進

【課題】北摂地域のナラ枯れ対策（継続）

【取組状況】

- ・大阪府、箕面市、高槻市等と連携し、民国連携による効果的な被害拡大防止対策の実施に向けて各種対策会議等へ参画。
- ・箕面市内のナラ枯れに関する情報交換会に参画し、国有林が実施する立木くん蒸処理対策について情報発信。
- ・箕面国有林（箕面市）、楊梅山国有林（高槻市）において、伐倒くん蒸処理による防除事業を実施。

【成果と今後の課題】

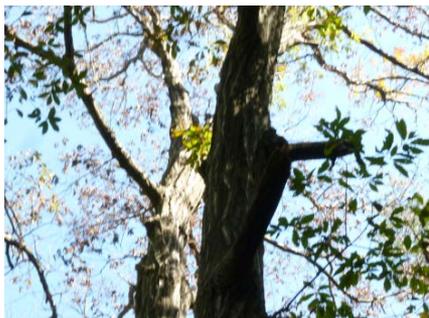
- ・国有林が実施する立木くん蒸処理について、安全性や防除効果等について、関係者の理解と関心を高めることに寄与。
- ・北摂地域の国有林について、伐倒くん蒸処理等によりナラ枯れ蔓延防止に寄与。
- ・国有林内で発生した被害木については、引き続き、伐倒駆除等の対策を予定。
- ・北摂地域の国有林において今後発生するナラ枯れ被害木については、立木くん蒸による処理対策を計画に取り入れるとともに民有林関係者との現地検討会等を通じ、民有林における普及・定着に取り組む予定。



（情報交換会の様子）



（伐倒処理の様子）



（箕面国有林内の被害状況）



（伐倒くん蒸処理後の様子）

## 鳥獣被害対策の推進

【課題】二ホンジカ等の個体数管理（新規）

【取組状況】

- ・明治の森箕面自然休養林管理運営協議会が主催する分科会に参画し、被害防止対策等について意見交換を実施。
- ・箕面地域のNPOが主催する「人と自然の共生のための研究フォーラム」に参画し、二ホンジカ捕獲事業等について情報発信を実施。
- ・二ホンジカの個体数管理を行うため、高槻市と有害鳥獣駆除に係る協定書を締結。
- ・大阪府立環境農林水産総合研究所と連携し、北摂地域内の国有林におけるシカ生息密度と植生被害状況のモニタリング調査を実施。

【成果と今後の課題】

- ・箕面市、大阪府猟友会、明治の森箕面自然休養林管理運営協議会と連携し、箕面森林ふれあい推進センターが主体となり、平成26年5月からくくり罠、箱罠による二ホンジカ等の捕獲を実施。今後、モニタリング調査や個体数管理の成果等について、広く情報発信を予定。
- ・一般市民が参加できるフォーラムにおいて、獣害被害の現状等を発信し、二ホンジカ捕獲対策等の必要性を広く府民等へ周知。
- ・有害鳥獣に係る協定書に基づき、本山寺山国有林において箱罠を共同で設置し、二ホンジカ等の捕獲を実施。
- ・箕面国有林、楊梅山国有林、安満山国有林において、試験地のプロットを設定し、大阪府と共同で糞塊調査を実施。今後、平成31年度まで継続したモニタリング調査を予定。



（市民フォーラムの様子）



（箱罠設置の様子）



（糞塊調査の様子）

箕面国有林での二ホンジカ等捕獲実績

		6月	7月	8月	12月	1月	2月	3月	計
捕獲頭数	二ホンジカ	3	15	8		6	9	6	47
	イノシシ		3	2	3	2	1	2	13
	計	3	18	10	3	8	10	8	60

\* 9～11月期は捕獲休止期間